

藤堂研究室

[がんのウイルス療法開発]

医科学研究所 先端医療研究センター 先端がん治療分野

Division of Innovative Cancer Therapy, The Institute of Medical Science

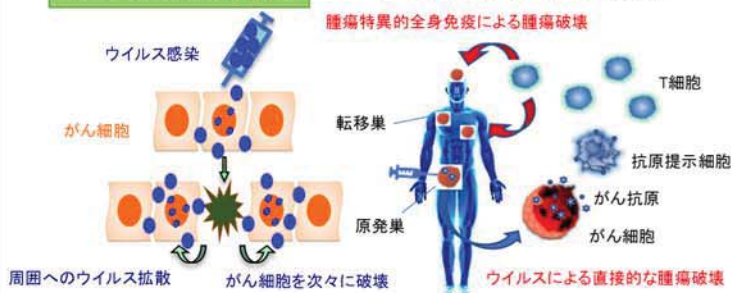
医学系研究科 病因・病理学専攻

<https://www.ims.u-tokyo.ac.jp/cancer/>

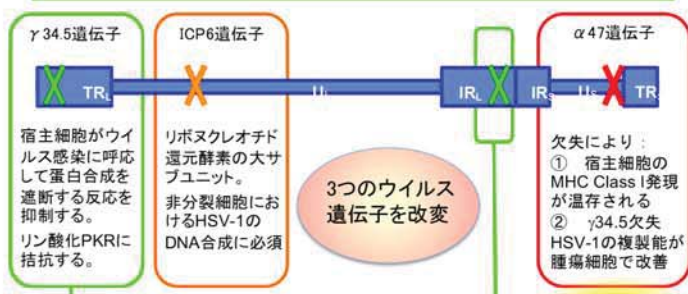
がん特異的に複製するウイルスをがん細胞に感染させ、ウイルス複製による直接的な殺細胞作用を利用する「ウイルス療法」は、放射線治療や化学療法が効かないがん幹細胞をも根絶し得る革新的な治療法である。我々が開発した第三世代ヘルペスウイルス(G47Δ)は、人為的三重変異によって高い安全性と強力な抗腫瘍作用を実現した。G47Δはまた、効率の良いがんワクチン作用を有し、G47Δの腫瘍内投与が、免疫を介して全身に治療効果を及ぼす。我々は、可及的早期に全ての固形がんに新しく標準となりうる治療モダリティとして、日本発のウイルス療法の実用化を目指す。2021年6月に日本初のウイルス療法製品G47Δが製造販売承認された。次世代の機能付加型がん治療用ウイルスの開発も進む。

ウイルス療法の概念

「ウイルスでがんを治す」

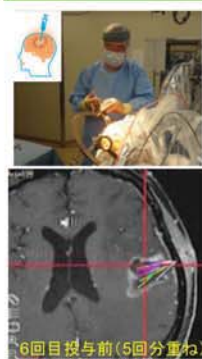


第三世代遺伝子組換え単純ヘルペスウイルスI型 G47Δ



G47Δの医師主導治験

高い治療成績と安全性

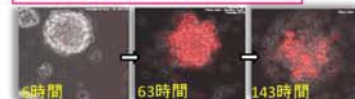


片側腫瘍へのG47Δ投与で対側にも抗腫瘍効果

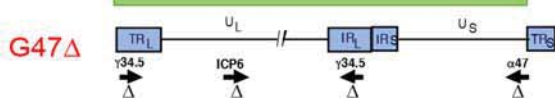


G47Δの特徴

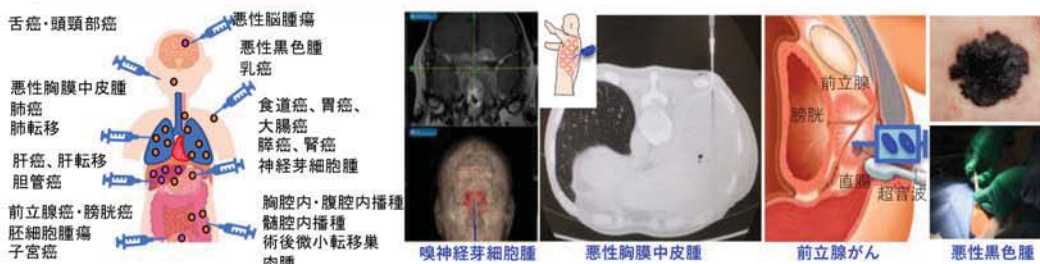
- 高い抗腫瘍効果
- 高い安全性
- あらゆる固形がんにも有効
- がん幹細胞をも殺す
- 抗がん免疫を強力に惹起



さらなる発展を目指した研究開発



日本発のウイルス療法の臨床開発が進行中



ウイルス療法ががん治療の選択肢となることは確実

